

# 尾瀬国立公園

## 公園計画の変更（一部変更）

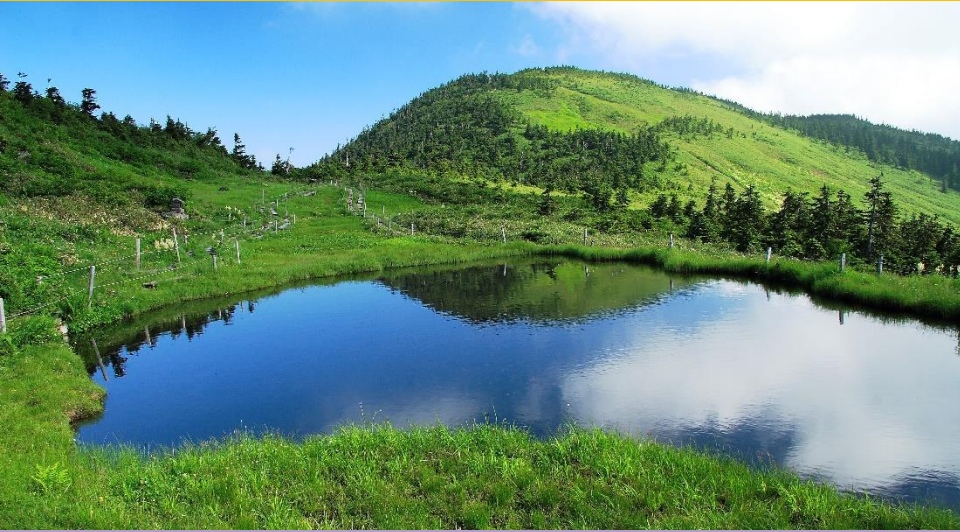
# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

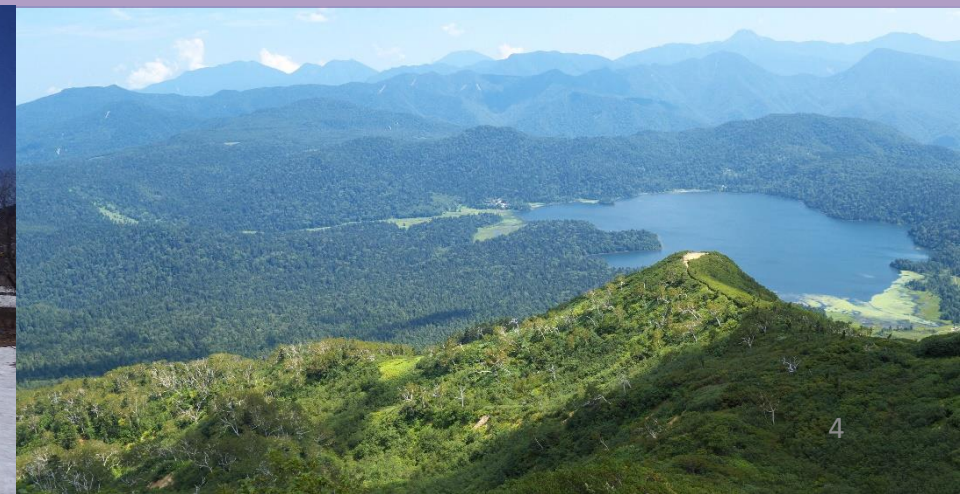
# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

# 尾瀬国立公園の概要

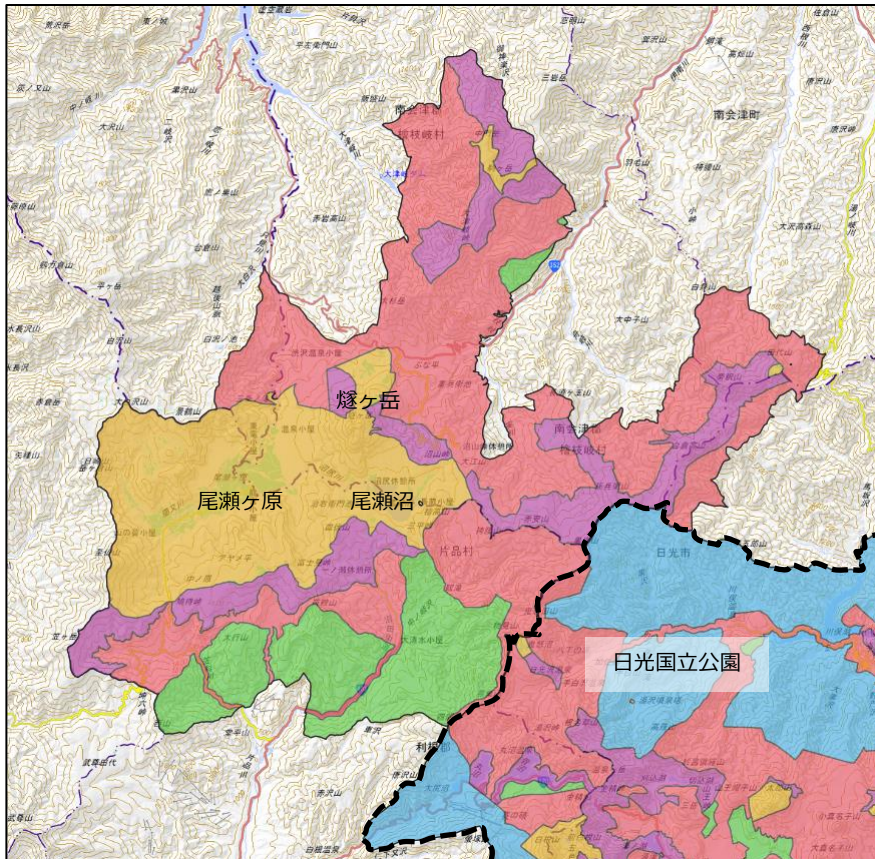
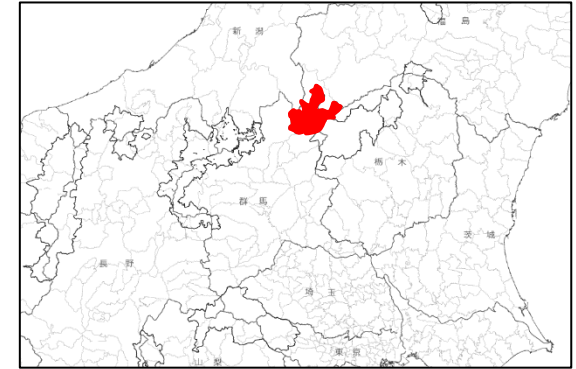


「名峰に囲まれ花咲き乱れる日本最大の山岳湿地～  
日本の自然保護運動発祥の地」



# 尾瀬国立公園の概要

- 指定：平成19年8月30日
- 面積：37,222ha  
(福島、栃木、群馬、新潟)



尾瀬国立公園（全域）区域図

## ● 風景形式

尾瀬沼及び尾瀬ヶ原の開放的な湿原及び湖沼景観とこれらを取りまく燧ヶ岳等の2,000m級の山岳からなる雄大な盆地景観、会津駒ヶ岳の稜線や田代山の山頂に広がる山地湿原景観等が特徴。

## ● 見直しの経緯

- 昭和9年 日光NPの一部として尾瀬地域を指定
- 平成19年 日光NPから分離独立し、尾瀬国立公園として指定
- 令和2年 第一次点検

# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

# 今回の変更のポイント

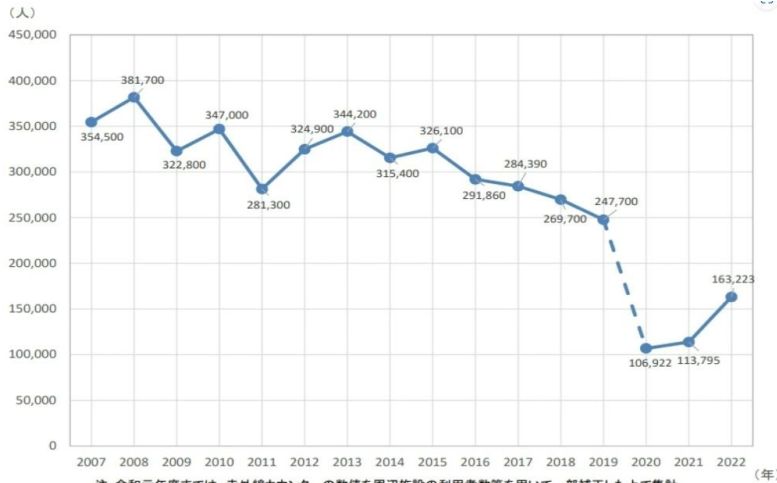
かつては主要な登山口であった富士見峠について、利用拠点としての魅力を向上するため、野営場事業を追加するもの。

なお、令和4年3月に群馬県片品村が策定した「尾瀬国立公園群馬県側利用拠点計画」において、富士見峠における具体的な計画として、廃業した富士見峠宿舎の撤去や富士見峠を拠点とした新たなツアー造成、野営場や休憩所等の利用施設の整備を進めていくこととしている。

## ●利用施設計画の見直し

- 富士見峠（野営場）の追加

## ● 尾瀬国立公園の利用者数



注:令和元年度までは、赤外線カウンターの数値を周辺施設の利用者数等を用いて一部補正した上で集計。  
令和2年度以降は、赤外線カウンターの数値を補正せずに集計。

図 尾瀬国立公園の入山者数の推移(参考)

「2022年 尾瀬国立公園の入山者数について」(環境省報道発表資料)

尾瀬国立公園の開山期の利用者数は、平成2～7年度まで50万人台前半で推移、平成8年度には過去最多の64万人台を記録したが、その後減少が続き、近年では30万人台前半で推移。

・令和3年度は約11万人、令和4年度は約16万人。

## ● 尾瀬国立公園の登山口における利用者数の偏り

尾瀬国立公園の主要な入山口のうち、

- ・「鳩待口」からの入山者数:全入山者数の6割強、
- ・「沼山口」からの入山者数:1割強、
- ・「大清水口」、「御池口」からの入山者数:各1割弱。

尾瀬ヶ原などへのアクセスが容易な「鳩待口(鳩待峠)」からの利用が半分以上を占めている。



尾瀬国立公園では、利用の分散を進めるため、尾瀬が持つ多様な魅力を活かしたコンテンツ造成・情報発信を行うことで滞在型・周遊型の利用を推進する取り組みを実施してきている。



地区	山小屋名	電話番号
1	尾瀬沼	0278-58-7311
2	尾瀬沼ヒュッテ	080-5734-7272
3	葛蔵小屋	0278-58-7100
4	鳩待峠	0278-58-7311
5	荒山山荘	0278-58-7311
6	山の湯小屋	0278-58-7411
7	尾瀬口ツジ	080-8397-2306
8	鹿沼小屋	0278-58-4158
9	ヨシツボ/田代	080-5003-4158
10	檜枝峠小屋	0278-58-7301
11	赤田代	0278-58-7311
12	見晴	080-7950-7950
13	尾瀬小屋	090-3425-6490
14	赤田代	027-221-4122
15	見晴	080-8316-2864
16	尾瀬小屋	0278-58-7100
17	赤田代	080-8316-2864
18	尾瀬小屋	090-921-8314
19	尾瀬小屋	090-949-1319
20	尾瀬小屋	0278-58-7311
21	尾瀬小屋	080-8601-3394
22	尾瀬小屋	080-2844-8873
23	尾瀬小屋	080-2024-5375

地区	キャンプ場名	電話番号
CS1	尾瀬沼	080-5734-7272
CS2	見晴	090-9749-1319
CS3	山の湯	0278-58-7311

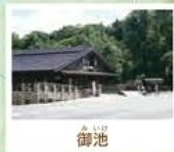
駐車場名	駐車場名
P1	尾瀬第一
P2	尾瀬第二
P3	スノーパーク尾瀬戸倉
P4	鳩待峠
P5	大清水
P6	御池
P7	七入
P8	滝沢
P9	馬坂峠
P10	猿倉



鳩待峠



小沢平



御池



滝沢登山口



馬坂峠



猿倉



富士見下



大清水

**尾瀬の花ごよみ**

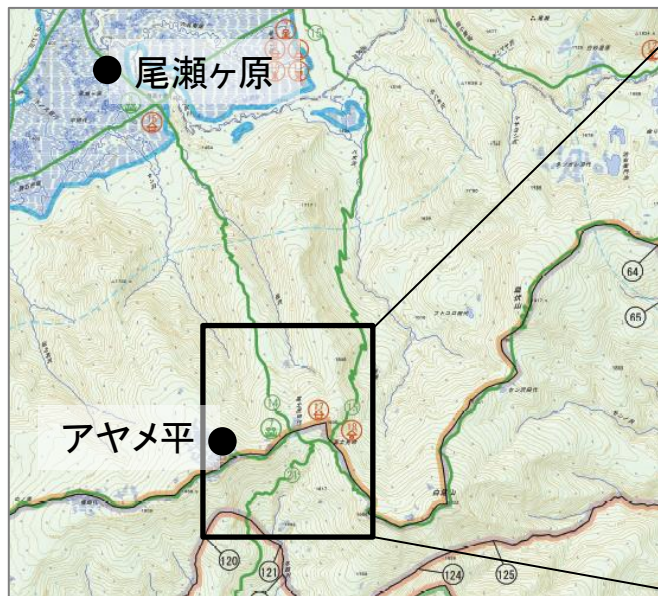
ツクシクサ 5月中旬～7月上旬	クサヤシロダマ 5月下旬～6月上旬	ニッコウキスゲ 7月上旬～8月上旬	キンゴクウ 7月上旬～8月上旬	ナガバシラカサネ 7月中旬～8月中旬	サワキキョウ 7月下旬～8月下旬	ウメバシロ 8月中旬～9月中旬	コメクシ 7月下旬～8月中旬	イワナツメ 8月上旬～9月上旬	ユキハシロ 9月中旬～10月上旬

公益財団尾瀬保護財団HPより

# 富士見峠野営場の追加

## 第1種特別地域（民有地）

### ●位置図



### ●公園計画図



アヤメ平



富士見田代

- 本事業地は尾瀬ヶ原の南部の標高約1,860mに位置し、周囲はオオシラビソ等を主体とする自然性の高い樹林帯である。付近にはアヤメ平、富士見田代等の高層湿原が見られる。
- かつては尾瀬国立公園において最も利用者数が多い入山口として機能していたが、鳩待峠など他の入山口の整備等に伴って利用者数は減少し、富士見峠宿舎事業（通称：富士見小屋）が廃業するなど利用拠点として魅力が低減している。

## 富士見峠野営場の追加



- ・尾瀬国立公園における、富士見峠の利用拠点としての魅力を向上するため、今回野営場事業を追加し、同時に事業決定。なお令和4年3月に群馬県片品村が策定した「尾瀬国立公園群馬県側利用拠点計画」において、同拠点の魅力向上に向けた具体的な計画を作成。
- ・今後、野営場や休憩所等の利用施設の整備を民間事業者により進めていく予定。事業規模及び施設整備は、基本的に富士見小屋撤去跡地の敷地で設計。
- ・本事業地を起点としたツアーコンテンツの造成も行い、富士見峠を利用拠点として機能させることで新たな利用者層を獲得できるほか、鳩待峠に集中していた利用の分散（混雑緩和）効果も期待でき、公園利用全体の最適化に資する。

# 富士見峠野営場の追加

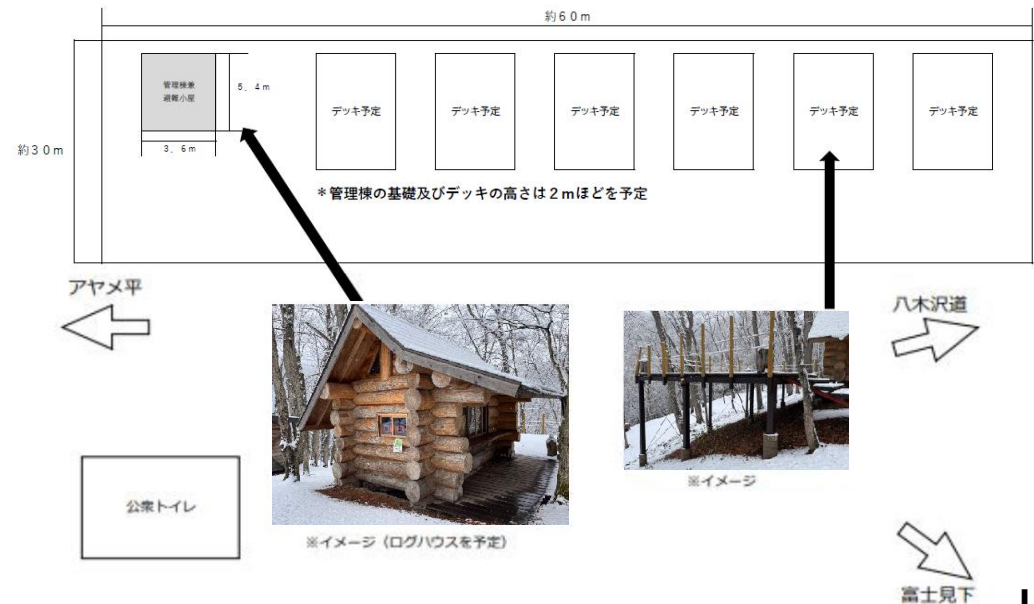
執行者予定者：一般社団法人尾瀬アウトドアスポーツ振興会

## テントサイトの整備

- 登山者ではなく、家族連れなどを対象にしたキャンプ利用（手ぶらでキャンプ）なども想定し、テント設置スペースであるデッキを整備。キャンプサイトへのアクセスは、E-bike等の活用を想定。

## 管理棟兼避難小屋の設置

- 野営場の管理及び緊急避難所として機能する管理棟を設置。
- 公衆トイレは、近接する富士見峠休憩所事業のトイレ（東京パワーテクノロジー株式会社が執行）を使用。



## 自然環境への影響

- 当該地は、令和4年度に富士見小屋が撤去された跡地（表土が露呈している更地）である。そのため、事業用地確保のために周囲の樹林帯における木竹の伐採等は行われないほか、事業敷地内に既存植生は存在していないことから、本事業による自然環境への影響は極めて小さいと考えられる。
- 当該地は周囲を樹林帯で囲われていることから、周辺歩道や展望地等から望見されづらい。施設については、自然公園法及び管理運営計画に基づいて、景観に配慮した設計がなされる予定である。
- トイレについては、近接する富士見峠休憩所事業のトイレ（東京パワーテクノロジー株式会社が執行）を使用するため、し尿についても適切に処理される。また、露出している表土の流出防止対策についても、富士見峠富士見下線道路（歩道）事業執行者である片品村と対応を検討している。

# ご説明の流れ

1. 尾瀬国立公園について
2. 今回の変更(一部変更)について
3. パブリックコメントの対応について

# パブリックコメントの実施結果

## ■ 概要

- ・ 実施期間 令和5年3月30日（木）から4月30日（日）
- ・ 意見募集の結果 （意見提出数）

電子メールによるもの	計1通（1件）
郵送によるもの	計0通
FAXによるもの	計0通
今回の変更案にかかるもの	計0件